

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	建築・インテリア入門	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	プロが教える建築のすべてがわかる本／配布資料、他						
担当教員情報							
担当教員	中條 志保			実務経験の有無・職種	有・インテリアデザイナー		
学習目的							
これから建築を学ぶにあたり、建築やインテリアを理解するための方法や、諸要素と空間成立の相互関係を探り、まずは基礎知識のイメージを掴んでもらうこと。また、建築の仕事に関する基礎知識や学ぶ内容と仕事の内容とを結びつけてもらうことを目的とする。							
到達目標							
建築の構成を大きく捉え、内部・外部環境との関わり方、考え方を理解してもらうこと。空間を構成する要素（建築構造、材料、インテリアなど）の意味を考え、理解を深めること。また、各分野への導入として、各分野の相互関係についても理解し、建築・インテリアについて全般的な基礎知識を習得することを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	建築やインテリアの設計、施工、構造などに関係する、様々な情報や基礎知識を、教科書やプリント、画像資料などを活用し、ビジュアルでイメージし、理解してもらえよう、授業を展開する。また、授業の最後には小テストなどを実施し、理解度を確認しながら進めていく。						
注意点	毎回小テストなどを実施し、この内容も評価の対象とする。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表表 (口頭・実技)						
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	建築の仕事について考える			建築のプロセスを知り、建築の仕事について理解する			
2回	建築物・建築家について			建築物の用途や規模について、また建築家とその作品を知る			
3回	建築の構造について-1			建築の材料、構造について理解する			
4回	建築の構造について-2			様々な建築の構造とその作品について理解する			
5回	建築の材料について			建築の構造材料の種類とその特徴について理解する			
6回	建築の仕上-1			外壁、屋根などの工法と材料について理解する			
7回	建築の仕上-2			内装床、壁、天井などの工法と材料について理解する			
8回	防災対策			地震や災害に強い構造について考える			
9回	快適な建築について-1			環境工学、室内気候について理解する			
10回	快適な建築について-2			建築と音、色彩などについて理解する			
11回	快適な建築について-3			バリアフリーの必要性について考える			
12回	快適な建築について-4			バリアフリー設計についての基本を理解する			
13回	インテリアについて-1			建築とインテリアについて、作品とデザイナーを知る			
14回	インテリアについて-2			インテリアについての基本を理解する			
15回	まとめ			全体のまとめ			